The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF

# TAKARAZUKA

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝 塚 ワ イ ズ メ ン ズ ク ラ ブ
〒 662-0977　西宮市神楽町 5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0798)35-5987

## 宝塚ワイズメンズクラブ　２０１９年２月会報　第３６４号

## 主 題 ・ 標 語

国際会長(I P)　Moon Sang－Bong(韓国)
主 題:　Yes, we can change 「私達は変えられる」
スローガン　'Coutrage to challenger'

アジア太平洋地域会長(AP)　田中 博之
主 題:　'Action' 「アクション」

西日本区理事(RD)　遠藤 通寛(大阪泉北)
主 題:　「未来に残すべきものを守り育てる」
Let's Protect and Culrivate What Should Be Psssed on to the Future.
副 題:　「めぐり逢う一筋の光」
Seek Your Encounter with a Ray of Light

六甲部部長　大田厚三郎 (神戸西)
「六甲部は、一つの体。ともに助け合い、部全体の発展向上をはかろう。」

宝塚クラブ会長　青柳美知子
主 題:　「やさしさと笑いで、幸せクラブを作ろう、その中に新しい仲間を！

今月のテーマ: TOF(断食)、CS(地域奉仕)、FF(家庭での断食)
「 あなたの思いやりが人を助け、命を救い、環境を守ります 」
倉 卓也　地域奉仕・環境事業主任(京都トップス)

### 2019年2月例会

日　時 : 2019年2月13日(水)18:30
場　所 : 宝塚ホテル　翡翠
会　費 : 会員 3,000 円　会員以外 2,000 円
ドライバー　風早寿郎　石田由美子

開会点鐘　青柳美知子会長
ワイズソング　全 員
聖書朗読　鯖尻佳子
祈　祷　福田宏子
ゲスト・ビジター紹介

会 食
お話し
鯖尻 佳子さん
宝塚ワイズメンズクラブ会員
「いけばなの実演とお話し」
YMCA 報告

誕生日のお祝い　クラブ会長
ニコニコファンド
閉会点鐘　青柳美知子会長

| | |
|---|---|
| 誕生日<br>おめでとう！ | 福田 肇(11日)<br>吉田早苗(10日) |
| 1<br>月<br>実<br>績 | 例会出席者数　16 名<br>在籍会員数　25 名<br>出席会員数　16 名<br>出 席 率　64.0%<br>メイクアップ(内数)　0 名<br>メネット　0 名<br>コメット・孫メット　0 名、<br>ゲスト・ビジター　0 名<br>例会充足率　64. 0% |
| | BFポイント　1月　0 円<br>累 計　21,387 円<br>にこにこBOX　1 月　0 円<br>累 計　25,500 円<br>ファンド(物品販売)　0 円<br>累 計　45,550 円 |

## 会長のことば

結構長い間,私達夫婦は「ワイズメンとは何だろう、YMCA て何だろう？」と、1988年に入会してから、自称“ごまめメンバー”だった。それがいつの間にかこんなにワイズどっぷり人間になってしまったのか。

この度出来た 30 周年記念写真集を見ていると、いかに長い間クラブの皆様の暖かさに育まれてきたかを思い出されてしまう。又、私達夫婦のワイズをとおしての国際化は 88 年の京都国際大会の折、デンマークからのアウンさんのホームステイを引き受けてからだ。それ以来、デンマーク、ギブクラブの皆様との再三にわたる交流や、各地で開かれたアジア大会、国際大会への参加を通しての沢山の方々との交流は、私達の人生を豊かにし、ワイズの国際性の良さをしみじみ味わったからです。

我がクラブ、六甲部の仲間、世界のメンバーからもらった「やさしさ」を糧に残りの人生を生き抜こうと思う。

青柳美知子

## 【今月の聖句随想】

### 聖　句

神は言われた。「我々にかたどり、我々に似せて、人を造ろう。そして海の魚、空の鳥、家畜、地の獣、地を這うものすべてを支配させよう。」神は御自分にかたどって人を創造された。神にかたどって創造された。男と女に創造された。

創世記1:27

### 随　想

これまで 30 年間使ってきた「新共同訳」聖書に代わり、新しい翻訳が出た。それを機会にこころ新たに最初の創世記から目を通しはじめた。神がわれわれ人間をお造りになった次第が記されている。

短い 27 節のなかに「かたどって」という言葉が三度も使われている。私が神に「かたどって」造られているとは、人間性とか精神性などを意味していない。ずばりかたちそのものを言い表している。わたしの顔が、姿が神様とそっくりなのだと。なになに、この老いぼれた、みにくい顔が、背中の曲がったよたよた歩きのこの姿が神様そっくりだと。そうだ、と言われる。思わず鏡をのぞきこむ。神様ってよほど物好きな方なんだとつくづく思う。「お前はあるべき姿を印章としたものであり、知恵に満ち、美しさの極みである。」(エゼ 28:11)若いある時期だけがそうであるのではない。過ぎ行くその時々の姿が美しいのである。

辻　　建

# 1 月第1例会報告

## 2019 年六甲部合同新年会報告

大田六甲部長の提案、武田六甲部国際・交流主査の呼びかけで神戸西・神戸学園都市・宝塚の 3 クラブは例会を、西宮・神戸ポート・芦屋・さんだの4クラブは有志のゲスト参加で総勢 43 人のメンバーと共に 1 月 22 日 6:30～神戸グリーンヒルホテルで開催された。ドライバーは神戸学園都市の杉本ワイズと宝塚クラブの多胡が務めた。

宝塚クラブの青柳会長による開会点鐘で始まり、ワイズソング の斉唱、宝塚クラブの石田ワイズによる聖書朗読、神戸学園都市クラブの田辺会長の祈祷と続き、ゲスト紹介をして、大田六甲部部長が新年の挨拶をされ、いつものワイズ例会の流れが順調に運ばれた。第二部の司会を杉本ワイズにバトンタッチし会食と交流の場へと移った。まず三田クラブの安行会長による乾杯でテーブルブッフェ方式の食事と飲み放題のお酒。それぞれが楽しい歓談をしながら美味しい食事に舌鼓の時間が流れている間にアトラクションの準備が始まった。まず芦屋クラブのメンバーによるアトラクション。女性はフラのスカート、男性はハワイアン生地を身にまとい、ウクレレとビール瓶の演奏に合わせて女性が頭にバナナを乗せバナナボートソングを歌いながら客席にバナナを配って歩きその鮮やかな動作と身のこなしに一同大喝采。次は我が宝塚クラブの石田ワイズ率いる花組ブアナニバイオレットのフラと急遽結成された若林ワイズ率いる Na Leo Aloha のウクレレとバイオリン伴奏によるコーラス。

これもまたみんなの注目を集め華麗なるフラと素晴らしきハーモニーはアンコールにも応えたアトラクション。最後は全員参加で神戸西クラブの柳ワイズによるゲーム。高齢のメンバーの配慮もなされた認知症予防のためのクイズとか。大いに頭を悩まし、考え回答を書き込んだ。このゲームには賞品まで用意されていて、3位 12 人がそれぞれに素晴らしいお年玉をゲット。

笑いの止まらない温かい雰囲気のワイズならではのアトラクションを終えた。
ワイズのメンバーの芸達者は誇るべきものと自負。そして武田国際・交流主査の感謝の言葉を受け、神戸西クラブ加茂副会長の閉会点鐘で今年の六甲部の新年合同例会は幕を閉じた。

多胡　葉子

# 1月第2例会報告

1 月第 2 例会は日程を変更して 1 月 9 日(水)18:30 から宝塚市西公民館で行われ、青柳会長・長尾・小林・加藤・多胡・堀江・石田・鯖尻・武田・福田宏子・吉田・若林各メンの 12 名が出席した。議事要旨は次の通り。

1. 今後の例会運営について

1 月 22 日(火)18:30　六甲部合同新年例会
グリーンヒルズホテル神戸にて
参加者:宝塚 16 名、神戸西 8 名、学園都市 3 名さんだ 3 名、西宮 6 名、神戸ポート 3 名、芦屋 6 名　合計　45 名(1／4 現在)
余興として、宝塚はフラとグループ・サウンズを披露する。

2 月 13 日(水)TOF 例会　宝塚ホテル翡翠の間
会費:会員 3,000 円、ゲスト 2,000 円
鯖尻メンにより「いけばなのお話しと実技」

3 月 13 日(水)岡山大学名誉教授　篠田純男氏を迎え「南アジアの感染症と向合って」4 月・5 月の卓話は次を予定し、折衝する。

・希少難病で闘病中の山本育海君の母・山本智子氏を招き、「希少難病患者を支援する活動」のお話し。

・RBM 献金として@800×23 人＝18,400 円を支出しているが活動の実際は勉強不足の感あり。適任者を講師に迎える。

2. TIFA 宝塚国際交流協会の NGO 活動展について 3 月 2～3 日(土・日)の活動展には神戸 YMCA、ラオス・ワークキャンプの写真を展示する。当日の役割分担等は 2 月第 2 例会で協議する。

3. 神戸 YMCA、日本語スピーチコンテスト協賛

2 月 27 日(水)9:00～13:00、県民会館ホールにて、協賛金として 5000 円支出を了承。来聴歓迎。

4. 他クラブの行事等

・1/10 神戸ポート:新春コンサート、
・2/1　チャリテイーワインを楽しむ会　神戸ポートピアホテル 10,000 円
・2/16　15:00 さんだ:第 26 回バレンタイン・コンサート、三田市総合文化センター、1,200 円
・3/10　宝塚防災ウオーク「希望の凧揚げ」に参加、自立の家の同種行事との調整を行った上で 2 月例会にて詳細協議。

5. ブリテン編集

長尾メンの編集方針により役割分担、日程を確認。なお、投稿記事(クラブ訪問記等)は 400 字以内に収めて欲しい旨の要請があった。

6. 会計処理の確認について

・吉田メンから、資料により西日本区諸献金・市民クリスマス募金などについての支出計画の説明があり、それぞれの項目を了承した。
・創立 30 周年記念誌の刊行準備が整い間もなく配布予定であるが、予算外の支出であるため印刷費 76,510 円は雑費として計上することを確認した。
・前期(2018.7～12 月)会計報告は 2 月ブリテンにて掲載予定。

## 2 月ゲストプロフィール

**鯖尻佳子さん**

平成元年池坊入門、池坊中央研修学院卒業後、古川守彦教授の総合特別科立花教室、
生花教室を経て生花ゼミに在学中。
今は学校華道のクラブ活動で教えています。

2011 年 7 月入会、宝塚ワイズメンズクラブ
2015 年 7 月～第 26 代会長

## CS 献金のお願い

CS 献金は下記の様に CS 事業主査から呼びかけがありそれを受けて宝塚クラブでは以下の様に申し合わせ皆様にお願いしています。

1.） CS 地域奉仕活動献金　1人あたり 1,500 円
1. 年賀状当選で 1,500 円
2. または年賀状当選プラス現金で 1,500 円
3. 現金のみ 1,500 円

以上 1～3 の当てはまる献金を各自二月の第一例会時にご持参下さい。
尚、今年の年賀状お年玉切手シートの当選番号は下 2 桁　**78 ・ 42 ・ 02**
その他の以下の CS 関係の献金は毎回例会時に各自 300 円を集めている中から目標は会員数分を締め切りの 3 月 15 日までに会計から送金していただいています。
2.) TOF(Time of Fast) 献金　1人あたり 1,400 円
3.) FF(Family Fast) 献金　1人あたり 800 円
4.) 国際統一事業(UGP)ロールバックマラリアの理解と献金　1人あたり 800 円

地域奉仕・環境事業委員　多胡　葉子

## 地域奉仕コーナー

昨年初めに障がい者施設「はんしん自立の家」が綿の種を多くの方に配り、約 11 キロの種付きの綿が収穫され届けられました。直ぐに種取の作業がボランティアによって始めました。しかし機械が 2 台しか無く、1 月 25 日(土)で延べ 4 回、8 人 1 回 3 時間作業を行って来ましたが、

1 日 2 人の成果

糸に成り

製品の一つ

まだ約2キロ残って居ます。5月には種植えをしなくてはいけません、ボランティアを募集します。

## 部会・他クラブ訪問

### 芦屋クラブ

1月16日ホテル竹園に於いて午後7時からの芦屋クラブの例会で「水仙一色」という立花を生けさせて頂きました。その日は入会式もあり大変喜ばしい日にお花を生けさせて頂き光栄なことでした。水仙は立春前に生けると美しく生けられるようです。水仙の葉の捌き方が難しくて内心ドキドキしていましたが、

皆様の温かい眼差しに救われて何とか生けられました。人前で生けるという貴重な経験させて頂き感謝の気持ちでいっぱいです。2月は宝塚クラブでも生けさせて頂きます。宜しくお願い致します。

鯖尻佳子

---

YMCA みつかる。つながる。よくなっていく。

寒さ厳しくなりました。春に芽を出す植物は春の温かさに一気に育つべく土の中で力を蓄えています。神戸YMCAも次年度に向けて力をためる大切な時です。ぜひ皆さんのお支えの中で次年度も歩んでいけるようご支援ください。

**1.スピーチコンテストのお誘い**

神戸YMCAの海外留学生の取り組みにいつもご賛同ありがとうございます。また今年もスピーチコンテストへのご協賛を宝塚ワイズメンズクラブからご支援いただき感謝します。先月もブリテンでお伝えした通り、実際の様子に関心のある方のご参加をお待ちしております。なお、参加希望される方は事前に神戸YMCAカレッジ橋本（もしくは谷川）までご連絡ください。席を確保するようにいたします。

《第 11 回神戸 YMCA・コミュニカ学院スピーチコンテスト》

日時：2019 年 2 月 27 日（水）9.00-13.00
場　所：兵庫県民会館　けんみんホール
主　催：神戸 YMCA/コミュニカ学院
協　賛：神戸日本語教育協議会
連　絡：神戸 YMCA 学院専門学校
担当：橋本　／　078-241-7204

**2. 神戸YMCA総主事懇話会**

現在神戸YMCAを支えてくださる六甲8ワイズの代表の方々と、年間計画やYMCAの事業方針の説明、またワイズメンズクラブとの協同事業や支援のお願いをする機会として、例年2月に六甲部各ワイズ会長の方々にお集まりいただき、総主事と懇談する機会を設けております。

今期は3月6日（水）19時より実施予定ですので、ぜひ忌憚のないご意見をお願いします。ご案内は会長あてにお送りさせていただいています。

**3. YMCAピンクシャツデー**

「ピンクシャツデー」は、2007 年、カナダの学生 2 人から始まったいじめ反対運動です。

ある日、ピンクのポロシャツを着て登校した少年が「ホモセクシャルだ」といじめられました。それを聞いた先輩 2 人が 50 枚のピンクシャツを購入、インターネットで「明日、一緒に学校でピンクのシャツを着よう」と呼びかけました。翌日学校では呼びかけに賛同した数百名の生徒がピンクのシャツや小物を身に着けて登校。学校中がピンク色に染まり、いじめが自然となくなったそうです。

このエピソードは SNS 等で世界中に広まり、今では 70 カ国以上でいじめに反対する活動が行われています。カナダで最初にこの出来事があった日が、2 月の最終水曜日でした。それ以降、2 月の最終水曜

日に私たちもいじめについて考え、いじめられている人と連帯する思いを表す 1 日としています。
YMCAもこの運動に賛同し、社会全体がいじめに対して「自分ごと」として向き合うこと、そして周りの人が「傍観者」にならないことが、いじめから救えることを考えアクションを起こしています。詳細はポータルサイトにも掲載していますが、ぜひ皆さんも「自分ごと」として行動を共にしていただければと願っています。
今年は2月27日（水）がピンクシャツデーです。
https://www.ymcajapan.org/campaign/pinkshirtday/
また合わせて3月2日にアンガーマネジメントのワークショップを開催することにしました。いじめに対する向き合い方をアンガーマネジメント（怒りの感情のコントロール）のワークショップを通じて考えていきます。こちらも関心のある方、ぜひご参加ください。
日程：3月2日（土）14：00-17：00
場所：神戸YMCA三宮会館チャペル
参加費：無料（定員50名）
発題：村岡弘朗氏（市立垂水相談所主任指導員）
申込は神戸YMCA本部事務局まで
https://www.kobeymca.org/

**4.ミホプロジェクトの紹介**

ミホプロジェクトは、2012 年に始まった福島の子どもたちのためのチャリティコンサートプロジェクトです。同仁キリスト教会での初演以来、東京、神奈川、長野、新潟、北海道の教会や修道院、幼稚園で回を重ねてきました。

この度神戸でも実施することになり、ワイズ六甲部、神戸YMCAも協賛団体となりました。ぜひ皆さん、お時間があれば音楽の中での祈りをともにしていただければと思います。
「東日本大震災 8 年　3.11 ミホプロジェクト祈りのコンサート」
日　時：2019 年 3 月 11 日（月）①14:30～②19:00～
場　所：日本基督教団　神戸聖愛教会（小栗献牧師）
主　催：ミホプロジェクト
後　援：ワイズ六甲部、神戸 YMCA、神戸 YWCA、他
https://mihoproject.wordpress.com/about/

2018/19

| | |
|---|---|
| 役　員 | 会　長　　青柳美知子<br>副会長　　福田宏子<br>書　記　　若林成幸<br>会　計　　吉田　明　堀江裕一<br>会計監査　加藤光信<br>連絡主事　谷川　尚<br>メネット連絡　福田素子<br>国際・交流主査　　武田壽子 |
| 事　業<br>委員長 | YMCAサービス・ユース　福田宏子<br>地域奉仕・環境　多胡葉子<br>EMC　杉谷和代<br>交流・ファンド　石田由美子<br>広報(ブリテン)（HP）　長尾　亘 |
| 特別事業委員長 | NGO　　鯖尻佳子<br>じゃがいも　小林康男<br>バザー　　長尾　亘<br>市民クリスマス　若林成幸 |